

活動を進めるにあたっての課題等

1 広報活動について

戦略的広報活動について

《適宜内容の説明文を記入ください》

これからの建設業の担い手となる大学生・専門学校生・高校生などを対象に集中的に実施していくことが有効と考えられます。一過性の取組みとしないためにも複数年にわたる橋梁などの大規模工事現場を対象に、段階的・経年的に施工状況を見学できるような仕組みづくりの工夫も併せて進めることが望まれます。

また、社会資本の老朽化対策や冬期の除雪など社会情勢や時候を捉えた戦略的なテーマを設定し、受け手の目線に立った共感が得られるような情報発信や広報活動に努めていく必要があると考えています。

活動を進めるにあたっての課題等

1 学校就職担当窓口について

各学校の就職担当が、1年～2年で交代するため、毎年、学校側に確認をしてから活動を行っている。
可能であれば、大学・高専等の窓口について整理・更新をするシステムを構築し、北陸建設界の担い手確保・育成協議会参画組織で情報を共有化すると、活動の効率化が図れるのではないのでしょうか。